

フィンテックとファイナンシャル・アドバイザーの共存は可能か？

適正バランス

71%

のアメリカ人はファイナンシャル・プランニングは人とテクノロジーやツールの両方を活用するべきだと考えている。

88%

のアメリカ人はテクノロジーはファイナンシャル・アドバイザーを補完するが置き換えられないと考えている。

テクノロジーの限界

5%

テクノロジーを活用したツールだけでファイナンシャル・プランニングができると考えているアメリカ人は5%に過ぎない。

36%

さらに、ロボ・アドバイザー (AIによるアドバイザー) はファイナンシャル・アドバイザーの役割を絶対に代行できないと思っている人は36%。

85%

ロボ・アドバイザーより人のファイナンシャル・アドバイザーに任せたいと考えている。

AND ONLY

36%

ロボ・アドバイザーが的確に資産管理を遂行してくれると信頼できるのはたった36%。

ファイナンシャル・アドバイザー人

ロボ・アドバイザー

良い面

65% コミュニケーションを取りやすい
58% 人とのやり取りができる
82% 信頼関係を築いていくことができる

人的エラーはほぼない **49%**
人と関わらないですむ **31%**
コミュニケーションを取りやすい **19%**

懸念事項 & 疑問点

47% コスト
32% すぐに返事がもらえない
31% 財務評価の正確性

双方向の会話がいない **58%**
人との関わりがほとんどない **48%**
個人情報の漏洩 **46%**
財務情報のセキュリティ **44%**

テクノロジーを駆使するアドバイザーは優位に立つ

ファイナンシャル・アドバイザーとビジネスをする消費者も、アドバイザーがある程度のテクノロジーを使いこなすことが重要だと考えている

しかし、回答したアメリカ人は、自身のアドバイザーがツールを利用している比率を下記の通りと答えた。

94%

財務状況のモデリングをするソフトウェア

48%

80%

クライアントのプランの保管とアクセスのためのクラウド・テクノロジー

28%

72%

アポイントメント管理のインターネット・プラットフォーム

32%

71%

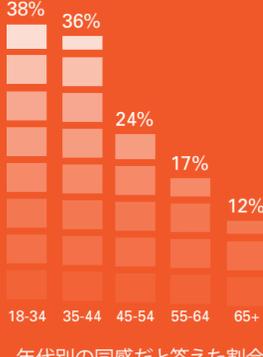
コミュニケーションを増やすためのニュースレターやソーシャル・メディア

33%

ミレニアル世代市場のために

38%

ミレニアル世代 (年齢18-34) の38%はロボ・アドバイザーは完全にファイナンシャル・アドバイザーの役割を代行できると感じている。



ミレニアル世代の市場へのブレークスルーを実現するために、アドバイザーとして下記を取り入れる事はかなり重要な要素となる。



クライアントのプランの保管とアクセスのためのクラウド・テクノロジー

83%



アポイントメント管理のインターネット・プラットフォーム

87%



バーチャル・ミーティングのためのプラットフォーム

76%



MDRT The Premier Association of Financial Professionals

調査方法: この調査はHarris Poll社がMDRTの依頼で2018年11月1-5日にアメリカ国内で実施しました。有効回答者は18歳以上のアメリカ人2008名で、そのうち771名は現在担当のファイナンシャル・アドバイザーがいる方です。この調査はオンラインでの実施であり、確率標本ではありません。従って、理論的なサンプルエラーを算出することはできません。荷重変動、サブグループのサンプル数などの調査方法の詳細については Carrie Kanieckiにお問い合わせください。